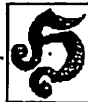


No 39

Japan Handball Association



社会人  
 学生  
 高専  
 高体連  
 中体連  
 小学生

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会

男子  
 女子

試合番号 **アリーナB-女35**

年月日 **2023年7月28日(金)**  
 大会名 **令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公式記録用紙 **ハンドボール**

A		高岡向陵高等学校						霧島市立国分中央高等学校						B							
北海道		函館市			函館アリーナBコート			3回戦													
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mポイント	A	B							
	5	7	21	19																	
7m得点/総数		チームタイムアウト			チームタイムアウト			7m得点/総数													
3/3		1	2	後	3	1	2	後	3	5/5		7m得点/総数									
2952		2305			2546		1610			2904											
No.	高岡向陵					G	W	2'	D	DR	No.	国分中央					G	W	2'	D	DR
1	中川 美空										2 c	福留 愛音					5				
2 c	小幡 みなみ					6					3	坂本 悠莉					3				
3	小野 優里					2					4	野村 月乃					2				
4	川原 芹菜					1					5	馬場 莉琉					4				
5	内山 姫羅										6	内野 未結									
6	今井 詠佳							1			7	永井 杏梨					4		1		
7	老本 希来莉										8	池田 二葉					1				
9	中野 暁音					2					9	小瀨 緑咲									
10	渡辺 優芽					3		1			13	山名 莉理									
11	森野 瑠菜					2					14	岡山 ことみ									
12	笹倉 優排										15	日置 千智									
14	宮本 遥					4					16	浅谷 花月									
16	早川 夕菜										17	城ノ上 清加									
17	中筋 海南					1	1				21	樋口 莉子									
監督A	長野 大										監督A	庄屋 亮二									
役員B	西田 稔										役員B	南 里穂									
役員C	小川 貴志子										役員C	石井 彩子									

A **長野 大** チーム役員A署名 **庄屋 亮二** B

特記事項

レフェリー	河野 翔保	小笠原 龍太	水崎原 龍太	河野翔保
TD	米内山 壮之	杉本 拓也	杉本 拓也	米内山 壮之
MO	山本 篤洋		山本 篤洋	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入



No 41

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会  
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

ハンドボール

競技日	2023年7月28日(金)		会場	函館アリーナBコート	
種別	女子		回戦	3回戦	
チーム名			チーム名		
高岡向陵高等学校			霧島市立国分中央高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
21	5	前半	7	19	
	16	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評	
<p>高岡向陵と国分中央はお互いに6-0ディフェンスでの戦い。国分中央のサイドシュートを中心とした攻撃に対し、高岡向陵はサイド、速攻、バックプレイヤーのカットインなどでバランスよく得点を重ねていく。しかし、その後はお互いの堅いディフェンスとキーパーの好セーブで思うように得点を奪うことができず、後半20分までで3-5とロースコアな展開。国分中央が3-5、4-5と追られたところで26分にタイムアウトを要求、チームを落ち着かせるとそのままお互い譲らない展開で前半を5-7で折り返した。</p> <p>後半開始早々、国分中央の③番のステップシュート2本でチームが盛り上がるも、高岡向陵の⑩番のスピードのあるカットイン、⑭番の速攻、⑤番のサイドシュートが決まりお互い全く譲らず、9-10と接戦の展開となる。なかなかあと1点差が詰められない高岡向陵だったが、後半14分ようやく13-13と同点に追いつく。逆転を狙い長身バックプレイヤー②番がシュートを狙うも2本連続で国分中央キーパーが好セーブ、しかし、3本目のシュートでついに逆転に成功する。</p> <p>逆転を許した国分中央はタイムアウトを要求し、立て直しをはかるも高岡向陵のサイド攻撃で2点差に広げられてしまう。しかし、④番のポストシュートで1点差に迫り、先ほどとは逆に1点差を追う展開。</p> <p>後半21分、再びポストにパスを通したところでペナルティスローを獲得し同点に追いつくも、⑦番が2分間の退場、再び17-15とリードを許してしまう。しかし追いすがる国分中央は残り1分で再び1点を追う状況でタイムアウトを要求。同点を狙ったシュートは惜しくも防がれ、21-19と最後の数秒までどちらが勝つかわからない、両者の気持ちの感じられる好ゲームとなった。</p>	

記入者	神 亮佑
-----	------